

【質疑に対する回答】

「京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略（仮称）策定業務」の委託に係る公募型プロポーザルにおける質疑回答について

総合企画局プロジェクト推進室  
プロジェクト推進第一担当

受理日：平成30年6月20日

回答日：平成30年6月21日

(質疑1)

仕様書「6成果物」に示されている以下の成果物について、  
総ページ数およびカラー／モノクロの内訳の想定を、ご教示ください。

- (1) 「未来の山科のまちづくり戦略」冊子（A4判） 3,000部
- (2) 市民意見募集用パンフレット（A4判） 2,000部

(回答)

「未来の山科のまちづくり戦略」冊子（A4判）については40ページ程度、  
市民意見募集用パンフレット（A4判）については20ページ程度で、いずれもカラーを想定しています。

(質疑2)

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略（仮称）の、対象期間・年度をご教授ください。

(回答)

「京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略（仮称）」は、刑務所敷地の活用を含め、未来の山科区のまちづくりの方向性を示すものであり、具体的な対象期間・年度を定めて策定することは想定していません。

(質疑3)

検討委員会の人選については、貴市で行われるとの認識で良いでしょうか。  
あるいは、委託事業者からの提案を求められるものでしょうか。

(回答)

懇談会の委員の人選は、本市が行います。

(質疑4)

懇談会と同様の内容を、山科区の全学区（13学区）の代表者に説明する場を設けることとしており（各3回程度を予定）とありますが、計39回の説明の場を設けられるご予定なのでしょうか。あるいは、より効果的・効率的な説明の方法についてご提案させていただくことは可能でしょうか。

(回答)

山科区の全学区（13学区）の代表者に説明する場は、13人の代表者に一堂にお集まり頂き、計3回程度設けることを想定しています。